

## 2019年度秋セメスター SECOND プログラム

### 1. SECOND プログラムについて

SECOND (SElf CONFirmation and Development) プログラムは、1-3 セメスター生(国内学生・国際学生)を対象とし、東南アジア地域での調査活動を通して住民との交流を図り、東南アジアの文化的多様性の理解を目指すものです。プログラムが目標とする学習内容は次のとおりです。

- ① 東南アジアの多様な宗教や文化について基本的な理解をする
- ② 文化の越境性について現地体験を通して学ぶ
- ③ 訪問国の政治、社会、経済システムについて基本的な理解をする
- ④ グループワークを通して日本語または英語によるコミュニケーションスキルを向上させる
- ⑤ 異文化に対する感受性を養うと共に異文化間コミュニケーションから来るストレスに耐えられる力をつける

APU では 2007 年度より国内学生向けに FIRST プログラムを、国際学生向けプログラムは 2009 年度秋より開始しました。リサーチ活動を通じて地域住民と積極的に交流することで、短いフィールドリサーチ期間で自分の実力がアップしたことを実感した学生もいます。「SECOND」プログラムは、この実感をより高いレベルでの異文化観察・学習に結び付けるために開発されたプログラムです。

### 2. プログラムの詳細について

2019 年秋セメスターの SECOND プログラムは以下の内容で実施されます。

科目名	異文化フィールドワークⅡ
担当教員	近藤 祐一 教授
実施形態	事前授業、海外実習、事後授業(事後授業は実習地で実施)
実習期間	A グループ:2020年2月16日(日)~3月1日(日) B グループ:2020年2月17日(月)~3月2日(月) ※参加者を2グループに分けて派遣します。
履修登録	2019年度秋セメスター科目として履修登録(自動登録)
単 位	2 単位(2019年度秋セメスターの履修科目登録上限単位数には含みません)
成 績	A+, A, B, C / F 成績発表は、2020年度春セメスター履修登録修正期間2で実施予定
開講言語	E/J
派遣人数	70名

### 3. プログラムの申請と選考について

申請書類に不備がある場合は、選考対象となりませんので注意してください。

申請資格	申請時点において、次の要件を満たす学生。 ① 1-3 セメスター生であること(国際・国内を問わない) ② 申請時点で 2 セメスター生である者は 1 セメスター修了時まで 14 単位以上修得していること ③ 申請時点で 3 セメスター生である者は 2 セメスター修了時まで 28 単位以上修得していること
申請書類	オンライン申請フォームより申請 (アカデミック・オフィス ウェブサイトから申請可能) <a href="https://survey2.apu.ac.jp/limesurvey/index.php/662163?lang=ja">https://survey2.apu.ac.jp/limesurvey/index.php/662163?lang=ja</a> ※志望理由を含みます。
申請期間	2019年9月20日(金)~10月24日(木)16:30 締切
選 考	志望理由書を重視した書類審査により選考を行います。必要に応じて面接を行う場合があります。
合格発表	2019年11月1日(金)17:00以降に Campus Terminal の【あなた宛の重要なお知らせ】にて通知します。



#### 4. プログラムに関わるスケジュール

授業/実習		予定日時	詳細
参加者ガイダンス		1月15日(水) 5限	ガイダンス、授業オリエンテーション、保険
危機管理授業		1月22日(水) 5限	危機管理オリエンテーション、J-TAS についての説明
事前授業	事前授業1・2	2月10日(月) 2限、3限 ※1	派遣国の概観・文化の理解、派遣地域の研究
	事前授業3・4	2月11日(火) 2限、3限 ※1	リサーチ手法の理解、リサーチトピックの検討
	事前授業5・6	2月12日(水) 2限、3限 ※1	リサーチトピックの設定、出発前ガイダンス
現地実習および事後授業		Aグループ: 2月16日(日)~3月1日(日) Bグループ: 2月17日(月)~3月2日(月)	フィールドリサーチ、振り返りディスカッション、プレゼンテーション、校友企画

※教室は、合格発表時に通知します。

※1 事前授業は、冬セッション時間割にもとづいて実施します。

◎現地実習行程(予定) ※現地実習は参加学生を2つに分けて実施します。各参加者の日程は参加者ガイダンスで発表します。

	A 日程(約 35 名)	B 日程(約 35 名)
2/16(日)	福岡空港集合 福岡よりシンガポールへ移動<全員> シンガポール泊	行程なし<出発前日>
2/17(月)	シンガポールよりジョホールバルへ移動 <全員> ジョホールバルより A 地点へ移動<班別> A 地点泊	福岡空港集合 福岡よりシンガポールへ移動<全員> シンガポール泊
2/18(火)	A 地点よりクアラルンプールへ移動<班別> > 振り返り授業 クアラルンプール泊	シンガポールよりジョホールバルへ移動 <全員> ジョホールバルより A 地点へ移動<班別> A 地点泊
2/19(水)	クアラルンプールより B 地点へ移動<班別> > B 地点泊	A 地点よりクアラルンプールへ移動<班別> 振り返り授業 クアラルンプール泊
2/20(木)	B 地点よりペナンへ移動<班別> 振り返り授業 ペナン泊	クアラルンプールより B 地点へ移動<班別> B 地点泊
2/21(金)	ペナンにて協定大学訪問 中間成果発表 ペナン泊	B 地点よりペナンへ移動<班別> 振り返り授業 ペナン泊
2/22(土)	ペナンよりバンコクへ移動<全員> バンコクにて現地在住の校友との交流企画 バンコク泊	ペナンにて協定大学訪問 中間成果発表 ペナン泊
2/23(日)	バンコク泊	ペナンよりバンコクへ移動<全員> バンコクにて現地在住の校友との交流企画 バンコク泊
2/24(月)	バンコクより C 地点に移動<班別> C 地点泊	バンコク泊

2/25(火)	C 地点泊	バンコクより C 地点に移動<班別> C 地点泊
2/26(水)	C 地点よりビエンチャンへ移動<班別> 振り返り授業 ビエンチャン泊	C 地点泊
2/27(木)	ビエンチャン泊	C 地点よりビエンチャンへ移動<班別> 振り返り授業 ビエンチャン泊
2/28(金)	振り返り授業、成果発表会 ビエンチャン泊	ビエンチャン泊
2/29(土)	ビエンチャンよりバンコクへ移動<全員>	振り返り授業、成果発表会 ビエンチャン泊
3/1(日)	バンコクより福岡へ移動<全員>	ビエンチャンよりバンコクへ移動<全員>
3/2(月)	行程なし	バンコクより福岡へ移動<全員>

## 5. 参加条件

### (1) 経費

プログラム参加にはプログラムに要する費用を支払う必要があります。

プログラムに要する費用	約 137,000 円(正確な金額は合格発表時に通知します)
支払期限	2019 年 11 月 7 日(木) 16:30
振込明細書提出期限	2019 年 11 月 8 日(金) 16:30

※支払方法および振込明細書の提出方法は、合格発表時に通知します。

※振込明細書提出期限までに、振込明細書の提出がない場合はプログラムに参加することはできません。その場合は、「6. 免責事項・留意事項」に準じて取り扱います。

◎プログラムに要する費用の内容は以下のとおりです。

プログラムに要する費用に含まれるもの	プログラムに要する費用に含まれないもの (自己負担するもの)
実習費 福岡 - シンガポール間航空券 ペナン - バンコク間航空券 ビエンチャン - 福岡間航空券 シンガポール(1泊)での宿泊費用 携帯および Wifi レンタル料(各グループに 1 台) J-TAS 危機管理システム加入料	左記以外の交通費、宿泊費(60,000 円程度) 自宅～福岡空港間の国内旅費 食費、個人的な費用等 リサーチ活動に関わる備品、コピー代等 海外旅行保険料(標準プランで 6,000 円程度) 査証(ビザ)取得費用(必要な場合) 予防接種費用(任意) J-TAS 危機管理システム使用料

### (2) 参加者において必要な手続き等

#### ・パスポート

パスポート未取得者は、速やかに取得の手続きを開始し、パスポートを取得してください。パスポート手配は参加者個人が責任もって行なうものとし、所定の期日※までに取得できない場合は参加を取り消します。その際にかかるキャンセル料は参加者の負担となります。負担するキャンセル料と成績については「6. 免責事項・留意事項」に準じて取り扱います。また、パスポートの残存有効期間が、渡航国ごとに定められた期間に満たない場合は、入国できません。各自確認のうえ、早めに更新を行ってください。

※本プログラムにおける、パスポート取得に関する所定の期日は 2 月 7 日(金)です。

※所定の期日とはプログラムへの参加取り消しが決定する最終の期日です。参加者には、合格発表時に別途パスポート情報の提出日及び提出方法を案内します。参加者はやむを得ない場合を除き、この案内に沿ってパスポート情報を大学または旅行会社へ提出してください。

#### ・査証(ビザ)

国際学生はビザ取得が必要な場合があるので、各自が事前にビザの要・不要を確認してください。ビザ取得は参加者個人が責任もって行なうものとし、所定の期日※までに取得できない場合

は参加を取り消します。その際にかかるキャンセル料は、参加者の負担となります。負担するキャンセル料と成績については「6. 免責事項・留意事項」に準じて取り扱います。また、再入国許可証が必要な学生は、それを忘れずに取得してください。

※本プログラムにおける、査証（ビザ）取得に関する所定の期日は2月7日（金）です。

※参加者の国籍によっては、派遣先国の入国に際しアライバルビザを利用することが可能です。ただし、現地空港等でアライバルビザを取得できずにプログラムへの参加を継続できない事態が生じた場合には、大学はその参加者がプログラムへの継続参加を辞退したものと見なします。履修の特別配慮等はありません。その際に、参加者が負担するキャンセル料と成績については「6. 免責事項・留意事項」に準じて取り扱います。

◎全4カ国の査証(ビザ)取得に必要な金額(目安) 2019年2月19日時点

国籍	日本 韓国 タイ ベトナム インドネシア フィリピン	ブラジル アルゼンチン オランダ オーストリア	スリランカ サモア
申請料	ビザ不要	約 4,000 円	約 9,000 円
代行手数料	ビザ不要	約 10,000 円	約 20,000 円

国籍	中国	ウズベキスタン	インド	バングラディシュ
申請料	約 14,000 円	約 14,000 円	約 12,000 円	約 10,000 円
代行手数料	約 30,000 円	約 16,000 円	約 20,000 円	約 20,000 円

※代行業者を通して申請する場合、申請料と代行手数料の両方がかかります。派遣先国や参加者の国籍によっては代行申請ができない場合があります。

#### ・保険

個人で既に加している場合も、APU 及び派遣先大学が指定する海外旅行保険、JCSOS 危機管理システム(J-TAS)への加入が必要です。保険加入に関する詳細は、参加者ガイダンスで説明します。

#### ・予防接種

参加者ガイダンスにて、APU ヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類、推奨レベルを案内します。予防接種は必須ではないので、推奨レベル等の情報に基づき、接種するかどうか各自判断してください。接種を希望する場合は、各自ヘルスクリニックで受診の手続きを行ってください。

#### ・誓約書

本プログラムに参加するにあたり、参加者には大学への「プログラムに参加するに当たっての遵守事項(誓約書)」の提出が義務づけられています。参加者は予め遵守事項を確認し、同意の上プログラムに参加してください。提出の期日及び提出方法については、合格者に対し別途お知らせします。

## 6. 免責事項・注意事項

### (1) 海外実習時における注意事項

本プログラムの実習期間中に、プログラムの当事者(APU、派遣先大学、現地機関)以外の第三者(組織、個人)による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟、それに関わる対応等の責任を負わなければなりません。プログラムの当事者(APU、派遣先大学、現地機関)はその責任を負いません。

### (2) プログラムの中止や内容の変更、参加の取り消し

参加者の健康や安全を第一優先するため、実習で天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、不可抗力に起因する事態が発生した場合やその他の事情等によりプログラムの中止や内容の変更を行う場合があります。プログラムの中止や内容が変更になる可能性も念頭においた上で、無理のない履修計画を行ってください。

受講態度や出席状況などを勘案し、受講不相当と判断された場合、合格発表後であっても、参加者のプログラム参加が取り消されることがあります。

### (3) プログラム参加決定後(合格発表後)の辞退について

大学は皆さんがプログラム申請をした時点で参加の意思があるものとして選考を行います。プログラム参加者決定後(合格発表後)に人数の変更があった場合、プログラム自体の実施が不可能になることや、他の参加者へ追加料金が課される場合があります。従って、プログラム参加決定後(合格発表後)の辞退は認められません。申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、辞退することがないように準備を行ってください。参加決定後(合格発表後)に辞退せざるを得ない状況が生じた場合は、辞退する学生本人がキャンセル料を支払う必要があります。辞退した者の成績評価は原則としてF(不合格)となります。

### (4) キャンセル料について

参加者の事情により、プログラム開始前またはプログラム開始後に参加を中止する場合、辞退する学生は、その時点で既に発生した参加者にかかる費用を支払わなければなりません。キャンセル料には、銀行手数料(海外送金手数料等)も含まれます。キャンセル料は、辞退時点で既に発生した諸費用の総額となります。既にプログラムに要する費用を大学に納入済みの場合、キャンセル料を差し引いた差額を返金します。返金手続きは、派遣先大学から APU への払い戻し等が必要な場合等、一定時間を要します。予めご了承ください。

## 7. その他

### (1) 個人情報の取扱いについて

派遣に関わる調整・手続きを進める上で、申請に際し申請フォームに記入した情報、およびパスポート情報を第三者(派遣先大学・機関、旅行代理店、保険会社、危機管理サポート会社、宿泊施設、日本およびあなたの母国、ならびに派遣先国の大使館、領事館、外務省)に対して提供することがあります。

### (2) 姿勢

プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、参加者自身の姿勢や努力が大きく左右します。海外で異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。各自でプログラムの参加目的をしっかりと定めてください。なお、派遣前後に行う事前授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。その他、書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。また、プログラム参加中は大学が定めたルールを守らなければなりません。大学が定めたルールとは、別途「プログラムに参加するにあたっての遵守事項(誓約書)」の他、飲酒、自動車・バイク運転、レジャースポーツの禁止があります。

### (3) 履修計画について

本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認してください。プログラム合格後に問題が判明した場合も、履修の特別配慮等はありません。自己の責任において、プログラムへの応募を行ってください。

また、2019年度秋 semester において「英語初級」もしくは「英語準中級」を履修している参加者が、本プログラムの合格発表後に英語集中講座の参加対象となり、かつ英語集中講座への参加を希望する際には、本プログラムの現地実習期間と英語集中講座の実施期間に重複が生じるため、場合によっては本プログラムを辞退する必要があります。その際に、参加者が負担するキャンセル料と成績については「6. 免責事項・留意事項」に準じて取り扱います。英語集中講座については、「2019 学部履修ハンドブック」74 ページ(日本語版)を参照してください。合格発表後、英語集中講座の参加対象となった場合には、速やかに担当者に相談してください。

### (4) 宿泊

宿泊先では、宿泊施設の規則や指示に従ってください。

## 8. 問い合わせ先

アカデミック・オフィス B 棟 1 階

TEL 0977-78-1101 / FAX: 0977-78-1102

Email: first@apu.ac.jp

担当者: アカデミック・オフィス 河野、大久保、橋爪

## 2019年度 立命館アジア太平洋大学 Off-campus Study Program

Off-campus Study Program(単位認定留学(EXPLORE)及びAPUグローバルリサーチプログラムを除く)に  
参加するにあたっての遵守事項

## 1. 基本姿勢

立命館アジア太平洋大学 Off-campus Study Program (以下「プログラム」という。)に参加する学生は、次の点を遵守しなければならない

- (1) プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならない。
- (2) 立命館アジア太平洋大学 (以下「本学」という。)の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関 (以下「派遣先」という。)の名譽を傷つける行動は慎まなければならない。
- (3) プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならない。
- (4) 遵守事項に反する事態を生じさせた場合は、本プログラムへの参加取消・帰国措置を命じられても、異議を申し立ててはならない。

## 2. 健康管理等

- (1) 健康管理は、自らの責任で行うこと。
- (2) 渡航前に、本学が指定する海外旅行傷害保険および危機管理支援システム (J-TAS) 等へ加入すること。(海外プログラムのみ)
- (3) 既往症等ある場合は、申し出ること。
- (4) 「Off-campus Study Program参加学生 健康状況および学習面における支援自己申告書」を提出すること。
- (5) 傷病等により入院加療の医療措置が必要となった場合は、すみやかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。
- (6) 緊急に医療手当または手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、本学もしくは派遣先の教職員または医師の判断によって処置することに同意すること。

## 3. 経費および補償

- (1) プログラムに要する費用 (実習費・宿泊費・交通費・保険料等) は、指定の期日までに納入すること。
- (2) 募集要項に定める所定の期日後に、本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへ参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、必要経費 (派遣先から本学に請求された必要経費を含む) を負担すること。
- (3) 天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、その他不可抗力に起因する事態によって、プログラムの中断や内容の変更があった場合、本学および派遣先に損害賠償を要求せず、3.(2)と同様の費用を負担すること。
- (4) 本人の不注意または本学および派遣先が管理できない状況下で、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。
- (5) 本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等が本学および派遣先が管理できない状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。
- (6) 故意または過失により、第三者または本学に損害を与えた場合は、賠償の責を負わなければならないこと。
- (7) プログラムの実習期間中に、本学、派遣先以外の第三者団体、個人、ホームステイ先等による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟やそれに関わる対応等の責任を負わなければならない。本学、派遣先はその責任を負わない。

## 4. 入国・帰国 (海外で実施されるプログラムのみ)

- (1) プログラム実施期間前に個人で入国してはならない。
- (2) プログラム実施期間終了後は、速やかに帰国しなければならない。派遣先国の滞在期間延長は、認められない。
- (3) (1) および (2) の規定にかかわらず、本学が必要と認めたプログラム (海外交換留学、共同学位プログラム、短期サマープログラムおよび短期ウィンタープログラムを含む) においては、本学が事前のガイダンスで指定する方法により、出国日および帰国日を事前に大学に申告するとともに、自己責任で現地集合し、帰着するものとする。

## 5. 誓約書の提出

上記事項を理解し、本人および保証人による誓約書を提出すること。